

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

仕事への向き合い方

1. 「仕事に取り組む姿勢」を振り返り

【入社当初～1年目】

- ・ 未経験での入社だったため、「専門性（武器）」を身につけたい一心
→ 「知らない」ことへの恥ずかしさや悔しさを糧に必死に研鑽
- ・ 同時に「仕事を任せてもらうためには？」を考えながら取り組む日々
→ 積極的に挑戦する。任されればとにかくやりきる。キャパを増やす
- ・ 「自己の専門性向上」に意識が向きすぎて「お客さま」と向き合う姿勢が欠けていた

【2年目～PM担当 / リーダー】

- ・ 担当するお客さまが増え、「向き合うべきもの」がわかり始める。
→ お客さまが困っていることに対し「なぜ？」と意識を向ける
- ・ リーダーを任せられ、育成サポートや社内連携に試行錯誤、四苦八苦
→ 健全な成長によりお客さまへよい支援をしてもらいたいという想いで向き合う
- ・ 部門内の新規事業（今でいうBPR支援）を推進
→ 潜在ニーズに向き合う
- ・ 向き合うものが変わり、自身のマインドセット、立ち振る舞い、コミュニケーションなどが大きく変わった
- ・ その反面、自己判断できる領域が増えたことで、報連相といった社内連携が疎かになり先輩メンバーに迷惑をかけてしまったことも（相手の立場になって考える大切さを痛感）

2. 最近、改めて感じる こと

- ・ 成長角度、パーパスの重要性
→ 角度の動機となる「なぜ成長したいのか」がパーパスストーリーに
パーパス発表会にて、お客さまや地域課題と向き合うマインドの高さに感嘆
- ・ コミュニケーションの重要性
→ 仕事は日々のコミュニケーションの積み重ね（あいさつ、声掛け、思いやり）
- ・ お客さまや仲間と真摯に向き合うことで、一人ではできない、チームとしての強みを発揮できる。それが自然とできるメンバーが集まって「MC品質」になっている。リーダーとしてこのMC品質を守り、より良くしていくため牽引・サポートをしっかり全うしたい